



主催：沖縄県立博物館・美術館

琉球王国文化遺産集積・再興事業シンポジウム

甦る琉球王国の美と手わざ

—— 模造復元と技術継承のあり方 ——

令和4年2月5日(土) 13:30~16:30

会場／沖縄県立博物館・美術館(博物館3階 講堂)

入場無料 事前申し込み不要・定員140名

パネリスト

- 園原 謙 (元沖縄県立博物館・美術館副参事)
- 多和田 淑子 (県指定無形文化財 本場首里の織物保持者)
- 照屋 勝秀 (株国建主席研究員)
- 西村 貞雄 (琉球大学名誉教授)

平成27年度より当館で実施してきた「琉球王国文化遺産集積・再興事業」が令和3年度で終了します。戦後様々な復元事業が行われてきましたが、今回の復元はどういった意義があったのでしょうか。本事業にかかわった監修者・製作者・事業受託者・事業担当者それぞれの立場で振り返っていただき、文化財継承や復元のあり方について御講演いただきます。

※感染状況により中止または録画配信に切り替える場合があります。
※新型コロナウイルス感染予防のためマスクの着用、検温などへのご協力をお願いします。
発熱や風邪の症状がある方はご入館いただけません。

あなたの沖縄に出会う

 沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum





プログラム

13:00 開場

13:30 開会

事業紹介(約5分)

第一部 甦る琉球王国の美と手わざ(各30分)

園原謙(元沖縄県立博物館・美術館副参事(事業担当者))

多和田淑子(県指定無形文化財 本場首里の織物保持者(製作者))

照屋勝秀(株国建主席研究員(事業受託者))

西村貞雄(琉球大学名誉教授(石彫分野監修委員))

15:45 第二部 模造復元と技術継承のあり方

模造復元の意義と本事業の成果、課題、技術継承のあり方など、それぞれの立場からお話いただきます。

16:30 閉会

※シンポジウム内容及び講師は変更になる可能性もありますので、詳しくはお問い合わせください。

展覧会情報

2022年1月15日～3月13日

特別企画 沖縄県立博物館・美術館「手わざー琉球王国の文化ー」
東京国立博物館 平成館企画展示室

2022年1月29日～2月20日

巡回展「手わざー琉球王国の文化ー」
久米島博物館 特別展示室・講堂

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により会期等が変動する場合があります。

お問い合わせ先

沖縄県立博物館・美術館

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

TEL 098-851-5401(担当:伊禮・玉城)

琉球王国文化遺産集積・再興事業について、
詳しくは特設サイトをご覧ください。

<https://okimu.jp/tewaza/>



琉球王国文化遺産集積・再興事業とは

明治以降の近代化や沖縄戦により失われた美術工芸品を製作する手わざ(技術)を、科学分析等の最新研究による情報をもとに模造復元し、王国文化を発信する事業です。

平成27年度より事業を開始し、令和2年度までに8分野65件の作品を模造復元、令和3年度までに県内外8会場で展示を実施しています。

